

かしこくなかよく たくましく



沼田町立沼田学園沼田小学校 学校だよりNo.7 令和6年9月30日発行

比べるのは、過去の自分

校長 吉田 純一

以前、「子どもが生きる力をつけるために親ができること」という本を読みました。これは親向けに書かれた本ですが、私たち教員にも非常に共感できる内容が多く含まれています。その一部をここでご紹介します。

「一等賞を称えない」

～中略～「ほめること」も「叱ること」も、親が子どもに伝える大切なメッセージになります。しかし改めて考えると、どちらも非常に難しいものです。

～中略～ではここで、みなさんがお子さんをほめたときのことを少し思い出してみてください。どんなとき、どんなことをほめたでしょうか？

たとえば、「テスト、クラスで1位だったんだって？ 偉いね！」「〇〇小学校のサッカー部に勝つなんて、よくやったね！」といった感じでしょうか。でも実は、これらはあまりよいほめ言葉ではないかもしれません。クラスで1位になったことやライバル校に勝ったことは、相対的な「結果」に過ぎません。なんらかの分野において1位になるのも、他者がいてこそその1位であり、競う相手が変われば順位も変わるでしょう。しかし、結果をほめられ続けた子は、「相対」を意識するようになり、他者と自分を比較するようになります。すると将来、相手に勝てない、いい結果が得られないといった事態におちいると、「自分には能力がないから」と嘆いたり、練習することを諦めてしまったりします。また、勝負する前から、戦うことを放棄するようなこともあるでしょう。

ほめるときに注目したいのは、結果が出るまでの「過程・プロセス」です。テストで1位を取った子をほめるとしましょう。もちろん、1位という事実も、素晴らしいことです。でもここでは、1位という「結果」には注目せず、「すごいね！ どんな工夫をして、勉強したの？」と、結果を引き出した「過程・プロセス」に焦点を置き、ほめるのです。そうすると、「わからないところだけ、集中して勉強したんだ」とか、「絶対100点を取ろうと思って、見直しをきっちりやった」など、工夫が見えてくるはずです。親御さん自身がお子さんの努力の過程を見ておき、「ここがよかったね」と伝えてあげること大切です。お子さんのなかで、自分のプロセスが意識されるようになるでしょう。こうやって育った子どもは、たとえ何かうまくいかないことがあっても、「今回はうまくいかなかったけれど、次はどうすればうまくできるだろう？」と、自分なりのやり方を考えます。将来にわたってコツコツと努力できる子どもになるというわけです。

【引用：「子どもが生きる力をつけるために親ができること」著者 工藤勇一 かんき出版】

1学期の全校朝会で、私は子どもたちに次のような話をしました。1回目のテストで0点だったのび太君が、一生懸命に勉強した結果、次は60点を取りました。100点ではありませんが、以前よりも大きく成長したのです。大切なのは、他人との比較ではなく、過去の自分と比べてどれだけ成長したかということです。

本日、お子さんの学習や生活の様子をお知らせする通知表を配布しました。お子さんのこれまでの努力と成長を認め、ぜひその過程をたくさんほめてあげてください。

5年生 ダム見学で学ぶ

5年生がダム施設を見学し、ダムの仕組みや水資源の重要性を学びました。雨の中でも笑顔で楽しそうに参加し、環境保全や地域への意識を高めました。



4年生 考える力を発揮！研究授業

4年生が意見を出し合い、考える力を発揮した研究授業が行われました。子どもたちの成長が感じられる場となり、教員も授業を通じて学びを深めました。



1年生教育実習 1・2年生図書館ワークショップ

教育実習生との4週間、全学年の子どもたちと関わりながら多くを学びました。また、1・2年生は図書館でワークショップに参加し、創作の楽しさを体験しました。



1・3年生「2WAY留学」での素敵な出会い

転校生が4週間滞在し、最初の緊張もすぐに解け、クラスに馴染みました。お別れの日にはみんなで涙ながらに見送り、出会いの大切さを学びました。



1・2年生 虫取りで自然を学ぼう！

生活科で、子どもたちが虫取りを通して、生き物に親しみ、自然環境について学びました。子どもたちは、自然と触れ合う楽しさを感じながら学びを深めました。



6年生 化石発掘で学びを深める！

6年生は校外学習で化石発掘を体験しました。自然の中で化石を探し、学びを深めました。写真からも、真剣に取り組む様子が伝わってきます。

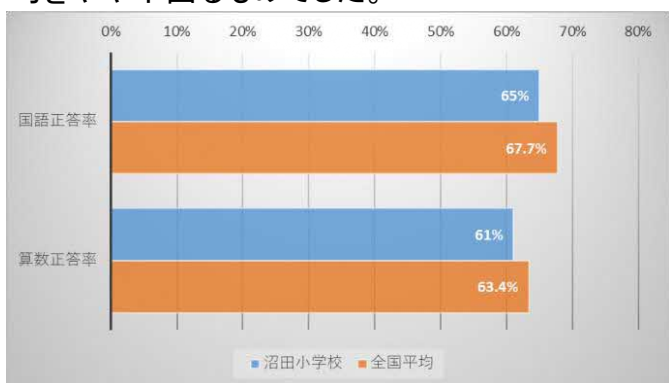


令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果報告

【調査結果について】

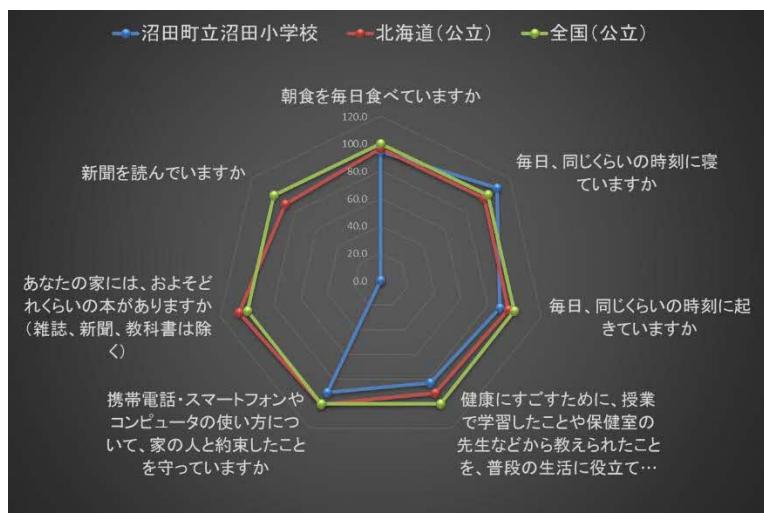
項目	沼田小学校	全国平均
国語正答率	65%	67.7%
算数正答率	61%	63.4%
家にある本の冊数（100冊以上）	低い	高い
新聞を読んでいるか	ほぼ0%	高い

今年度の全国学力・学習状況調査の結果が発表され、沼田小学校の児童たちの成績は全国平均をやや下回るものでした。



- **国語:** 平均正答率 65%。知識や技能に関しては高い成果を上げている（沼小 77% 全国 70%）一方、思考力や表現力には改善の余地があります（沼小 58% 全国 65%）。
- **算数:** 平均正答率 61%。立式や計算には強さを見せました（沼小 77% 全国 74%）が、図形問題では正答率が低い結果でした（沼小 56% 全国 66%）。

また、生活習慣に関する調査でも課題が明らかになりました。**青く示した線が沼田小学校になります。**



- **家庭にある本の冊数:** 「家庭に 100 冊以上の本がある」と回答した児童は少なく、全国・全道平均と比べて低い傾向にあります。

す。これは、児童が日常的に本に触れる機会が少ないことを示しています。

- **新聞の購読状況:** 「新聞をほぼ毎日読んでいる」児童はほとんどおらず、全国平均と比較しても顕著な差があります。

【今後の取組】

今回の調査結果を受け、本校では以下の取組を進め、児童の学力向上と生活習慣の改善を図ります。

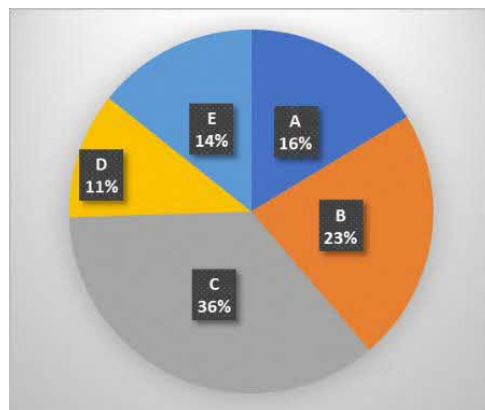
- **学力向上のための取組:**
 - **国語:** 複数の資料をもとに情報を整理する力を育むため、記述問題に対する訓練を強化します。
 - **算数:** 図形問題の解決力を高めるため、立方体や他の図形に関する授業を充実させます。
- **生活習慣改善のための取組:**
 - **朝の読書活動:** 読書時間を設定し、児童が本に親しむ習慣をつけます。ご家庭でも読書の時間を確保いただき、ご協力をお願いいたします。
- **新聞購読に関する取組:**
 - 本校では、児童が社会や時事問題に関心を持ち、考える力を育むため、「今日のニュース」の校内放送を実施しています。図書スペースには北海道新聞や道新こども新聞を設置し、日常的に新聞に触れる環境を提供しています。これにより、情報を整理し、理解する力が育まれます。ご家庭でも、新聞に触れる機会を増やし、ニュースについて話し合う時間を持っていただけると効果的です。

保護者の皆様には、引き続きご協力をお願い申し上げます。

体力テスト結果と今後の取組について

【結果について】

全学年で実施した体力テストの結果を踏まえ、学校全体の状況を教職員で共通理解し、今後の取組を検討しました。ご家庭でもぜひ参考にしていただき、日常の体力向上にお役立てください。



- ・ 上位層(A・B)は約 39%、中間層(C)は約 36%、下位層(D・E)は約 25%でした。昨年度は各層がほぼ同じ割合でしたが、今年度は下位層が減り、上位層が増えました。
- ・ 「握力」は全国平均を超える児童が多く、好成績でした。
- ・ 「長座体前屈」「反復横跳び」「20m シャトルラン」は全国平均に届いていないものの、昨年度よりも向上しています。
- ・ 「上体起こし」については、昨年度よりも全体的に成績が低下しています。

【今後の取組】

- ・ 上体起こしの改善策: 体幹や腹筋に効果のあるトレーニングを取り入れて、全体の成績向上を目指します。
- ・ 柔軟性の強化: 一部の児童で「長座体前屈」の結果が低いため、柔軟性向上に効果のある運動を導入します。
- ・ 朝の体力作りと授業の改善: 朝の体力作りや授業では、今回のテスト結果をもとに、学年ごとの課題に応じた運動内容を計画し、Nリンクと連携して進めていきます。

子ども文化劇場「影絵劇」開催！

9月12日(木)体育館いっぱいのスクリーンを使った影絵劇を鑑賞しました。まるで映像を見ているかのような、影絵とは思えない精巧な演出に、子どもたちは夢中になっていました。リアルな体験だからこそ味わえる感動があり、このような経験を通じて子どもたちの豊かな感性が育まれていくと感じました。

最後には、6年生4名が代表して感想を発表し、堂々とした姿に鑑賞団体の方々も感激されていました。子どもたちが様々な文化や芸術に触れることの大切さを改めて実感した一日でした。



家庭学習に困ったら5分間復習！

～ それぞれに合う内容を出題する AI ～

何をやればいいのか分からない時。全体を予習復習したい時。学校の勉強以上に取り組みたい時。自らの学習をしたい時。持ち帰っているタブレットでキュービナ (AIドリル) に取り組んでみましょう。1日5分でも結果が出ているそうです。ご不明な点がございましたら、学校までお問合せください。

単元を選んでの学習や5分間復習では、キュービナが個別最適な出題をします。短時間でも自分に合った学びになり、さらに学習すればするほど、自分に合う教材になります。

宿題の例

- 国語の5分間復習を1回やってこよう！
- 今日やった単元の問題を解いてこよう！

POINT!

5分間復習は「定着のAI」が子どもたちそれぞれに合った問題を自動出題するキュービナの機能です。



【10月の行事予定】

2024/10/01	火	後期縦割り班結成
2024/10/02	水	スクールカウンセラー (9:00～)
2024/10/03	木	町P連理事会①
2024/10/04	金	秋の外掃除
2024/10/05	土	
2024/10/06	日	
2024/10/07	月	係児童打ち合わせ
2024/10/08	火	
2024/10/09	水	児童公開前日準備
2024/10/10	木	学習発表会児童公開日
2024/10/11	金	前日準備 係児童最終打合
2024/10/12	土	学習発表会
2024/10/13	日	
2024/10/14	月	スポーツの日
2024/10/15	火	振替休日
2024/10/16	水	ことばの教室参観・懇談(～12/6) いじめアンケート②(～18日)
2024/10/17	木	環境美化作業
2024/10/18	金	児童会① 全校朝会(認証式)
2024/10/19	土	道PTA札幌大会
2024/10/20	日	
2024/10/21	月	協議会(研修)⑥ 教育相談週間②(～11月6日) 明日萌
2024/10/22	火	中学校登校日③
2024/10/23	水	1年生4時間
2024/10/24	木	
2024/10/25	金	沼田学園公開研究会(中)
2024/10/26	土	
2024/10/27	日	
2024/10/28	月	明日萌
2024/10/29	火	PTA三役会⑤ 130周年記念式典(午後) 全学年5時間
2024/10/30	水	児童総会 1年生4時間
2024/10/31	木	